



川崎市議会議員

# 本間 賢次郎 ケンジロウ

市政レポート No. 53 (令和4年5月号)

未来へ働き続ける、想いを「ツナ」ぐ。  
イメージキャラクター：本マグロ ツナジロウ

事務所 〒210-0834 川崎市川崎区大島 3-14-17

TEL044-742-8072

FAX044-211-1081

## 5月のご挨拶



新型コロナウイルス感染症対策のまん延防止等重点措置の解除以来、徐々にコロナ禍以前の行事やイベントが対策を取りながら回復してきています。先月は運営方法や形態は以前と異なりつつも、地元の春の恒例イベント「アジア・フェスタ」「アジア音楽交流祭」が3年ぶりに開催され、改めて、地域の賑わう様子にそれまでの日常が如何に貴いものであったかを実感致しました。

今後も感染症対策、ワクチン接種の運営へのご理解とご協力をお願い申し上げつつ、ウィズ・コロナの時代を皆様とともに作り上げて参る所存でございます。

## 今年度は総務委員会に所属！

本間ケンジロウのライフワークである、「市制100周年への取り組み」や「臨海部活性化」、「災害対策」、「観光施策の推進」などに一層、尽力！！

新年度を迎え、川崎市議会でも常任委員会等において、委員の異動があり、私は市政の中核部署を多く所管する総務委員会の所属となりました。総務委員会は具体的に、総務企画局、財政局、経済労働局、臨海部国際戦略本部、危機管理本部※、会計室、市民オンブズマン事務局、選挙管理委員会事務局、監査事務局、人事委員会事務局と10の行政部署を所管し、市の施策の中枢を担う部署の取り組みについて審議、議論を重ねていきます。

本間ケンジロウは、これまでも本会議での一般質問などで、総務企画局が中心となって企画を進める令和6年の「市政100周年」への取り組みや川崎臨海部のポテンシャルを活かした「スーパーシティ」に向けた意見、災害時の司令塔となる「危機管理体制の充実」、市内随所の魅力を結集し

た「観光都市・かわさき」への提言等を積極的に行ってきました。私のライフワークについて多く取り扱う総務委員会に所属することとなり、一層、これらの取り組みについて、行政と議論を深められるようになります。私は、引き続き、本市の発展と市民を守る防災・減災施策、そして、ポスト・コロナと言われる新型コロナウイルス終息後の持続可能な新たな時代の都市運営について、ますます積極的に意見・提言を行って参ります。



↑令和4年4月21日の総務委員会にて  
画像元：川崎市議会インターネット議会中継より  
URL：<https://www.kensakusystem.jp/kawasaki-vod/video/R04/R040421-01-1.html>

※危機管理本部＝元 総務企画局危機管理室

## 災害対応の司令塔・危機管理本部創設！ 4月1日より本格始動！

令和3年第4回定例会（会期：11月26日～12月21日）において、総務企画局内に置かれていた危機管理室を危機管理本部へと、令和4年度に昇格させる組織再編の議案が提出され、議会において可決致しました。これは、近年の自然災害や新型コロナウイルス感染症への対応・対策を踏まえ、さまざまな危機管理の課題について、迅速かつ的確に調整し、課題解決を図るためのものです。

この組織再編を機に、庁内の危機管理の取り組みを統括することで、危機事象へ迅速に対応する即応能力の強化、各局区との連携による全庁一丸となった総合力の強化、各区役所を中心とした地域防災力のさらなる向上を図り、本市全体の危機管理能力を強化して市民の安全・安心の確保に向けた行政の危機管理体制が機能することが求められます。わが会派も同定例会において、組織の在り方を指摘し、その役割の重要性を共有するとともに、有為な人材の確保の方針についても見解を問いました。

私は、これまで、災害対応の危機管理については、「まずは人材の確保」と質問で取り上げており、また、日頃からの関係各所との信頼関係構築の重要性を指摘して参りました。特に、退職自衛官の任用について、国や他都市との連携力などのスキル・人物像を重視した採用とそれに相応しい待遇を求めてきました。今後も市民の生命と財産を守る要となる危機管理体制の充実に取り組んで参ります。